

2022年 6月2号



インターネットの **トップ記事**

早川三根夫 前教育長 検索すると

松原のりかず 市政報告 2021年3月3号 表示

今、早川三根夫（前岐阜市教育長）をインターネットで検索しますと トップ記事に松原のりかず の市政報告、みだしは「**突然の早川三根夫岐阜市教育長辞任劇 辞任すべき時は2019年7月 いじめ中学3年生自死事件直後 事件調査は新教育長に委ねるべきだった!**」のニュースが表示されると、田中議員にお知らせ頂きました。

岐阜市役所デジタル担当の課に訊きましたが、「検索件数と記事内容から機械がトップ記事にもって来た」もので、人為的にできるものではない。の説明でした。つまり、市民の関心が大きいという事。市民の意思を感じる事が出来ます。

早川三根夫 前教育長の在任期間に 不祥事25件

求められる「負の遺産解消」は、水川現教育長に

前教育長の在任期間に、殺人未遂、収賄、盗撮、窃盗、買春、児童ポルノ等々、教員による不祥事25件 がありますが、いじめ自死対応問題 も含まれます。「いじめを知らなかった」とテレビカメラの前で発言された校長。『知らなかった』と言えば、責任回避できるのではなく、『職務怠慢』と市民から指摘されるのですが、

早川三根夫前教育長時代、中学生自死事件の学校長が、事件後に教員研修所の研修責任者の1人になった。市民から、指摘されます。「いじめ事態を把握できず、知らなかったとテレビカメラの前で発言される」現場の最高責任者が、教員研修所に行って「何を研修するのか？」と。

市民は、これらの事例を、各校長、教員に関心をもって、見ていると思えます。水川教育長は、色々な意味で、「前教育長の負の遺産」を解消され、現場の事件を早急に把握で来る体制を構築されるべきです。

なぜ、早期発見・改善出来なかった **本年5月**

教師による「小学校1年生へのいじめ事件」(うら面につづく)

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

退職辞令を受け取ったのは、夫（校長 OB）

「教師による小学1年生へのいじめ事件」については、その概要は「本紙2022年5月3号 減らされた八宝菜」を御参照をお願いします。

松原のりかず は6月議会で「教師によるいじめ事件」を質問。水川教育長は、事件の事実を認め、その改善を答弁しました。松原のりかず は、事件の当事者教師も問題ですが、事件を発生させた背景、教員への指導体制（人権教育など）や、情報伝達体制（学校からの教育委員会への迅速報告）の課題を質問。

当該担任教員は、退職されました。しかし、退職辞令を受け取ったのは配偶者である校長 OB であるとの事。学校長、教育統括審議監、学校指導課長3人が、6月2日に当該担任の夫と面談。夫を通じて、市教委としての嚴重注意を伝え、退職辞令（6月3日付け）を渡しています。市人事課に訊きましたら、「退職辞令を本人外へ渡す事は、めずらしい。」との事。また、6月3日退職の前日（2日）の「嚴重注意」（夫を通じての）が何ほどの意味をなすのか？

「学校の主人公は子ども」の・・・はず

当該担任教員の夫が、校長 OB であることで、もし、当該小学校長の4月からの指導対応に遅れを生じさせ、何らかの気配り、配慮、村度を生じさせていたならば、「学校の主人公は子ども」ではなかった事になります。

教員の雇用、教員の家族である校長 OB への気配りのために、当該小学校長は一月半、指導をためらったのではないかと、との市民の指摘がある。だとすると、

「課題の闇は深いが、水川教育長の答弁を求めます。」（6月議会 松原のりかず質問）
答弁「その様なこと（夫・校長 OB への気配り）で、当該校長からの指導が遅れた原因になった。事は無かったと思います。」〔旨〕（水川教育長） さて・・・。

山県市の学校給食無償化を例に 6月議会

松原のりかず 岐阜市の無償化を求める

山県市は、8月から小中学校（1724人）の給食費を全額無償化する。岐阜市は国からの約10億円の予算から、約8億円を電子決済に回し、約2億円で学校給食費1食25円（小中学校）などの補助予算に止めています。山県市長は「成長期の子どもが生涯にわたって健全な心と体を養い、豊かな人間性を育む基礎となる環境を守ることが無償化の本旨」（中日新聞6月4日）としているが、岐阜市の25円補助の予算目的への水川教育長の答弁はスッキリしなかった。松原のりかず質問後、本業市も無償化発表。



松原のりかず

☎058-253-2500